2026年度

東京藝術大学
コンサート・スケジュール



後期版 2026年10月 ⇛ 2027年3月

奏楽堂の再開に向けて



去る2026年2月26日（木）、奏楽堂において、舞台上部の天井音響反射板昇降装置の定期点検および不具合機器の交換作業後、 動作確認を行っていた際に、天井音響反射板（以下「天反」）が舞台床面へ落下する事故が発生しました。幸い人的被害はありませんでしたが、 奏楽堂自体の損傷は想像以上に大きく、 2026年度に予定していた演奏会の奏楽堂での実施は断念せざるを得ませんでした。奏楽堂での演奏会を楽しみにしていただいている皆さまには、 大変申し訳ありませんでした。本稿では事故から現在までの経緯と、今後の見通しについて2026年9月末時点でお伝えできる限りの情報をお知らせしたいと思います。なお、詳細については本学ホームページに掲載しております。

2月の事故発生から、まず事故の状況や原因について調査を行うために、学長を本部長とする危機対策本部及び音楽学部長を座長とする奏楽堂事故対策チームを設置し、 学内外の専門家や各施設・設備の業者の方々の協力を得ながら原因調査や復旧計画の検討を進めるとともに、 授業や演奏会等の調整などの対応を行ってまいりました。

事故の損傷は落下した天反だけでなく、舞台床、舞台上の雛壇などを動かす迫り(せり)、そして、舞台下で構造を支えているコンクリートの梁にも及んでおり、まず、舞台上での撤去作業を行うために、損傷した舞台下に仮設の柱（支保工）を設置しました（4月〜 5月）。その後、 損壊した天反を粉砕、切断して撤去をすすめ（5月〜7月）、 7月中旬には舞台上の天反の撤去が完了し、 損壊の全貌が明らかになってきました。今後下記のような工事を行う予定です。

1. 舞台下の構造を支えるために奈落に補強壁を設置、コンクリートの梁補修
2. 落下した天反の再製作および昇降装置の更新
3. 舞台上の迫り機構（道具迫り、舞台迫り）の再製作
4. 損傷した舞台床板の張り替え及び調整
5. 天反および舞台上にあった照明や音響関係の機器の再製作
6. オルガンのパイプ位置の調整、クリーニング

上記の工事を完了させるためには、2年程度の工期が必要であるため、現時点で2028年度前期中に完了する見込みです。復旧工事にあたって、客席天井や舞台上の昇降バトンなどに、同様の落下事故が再発しないよう2重3重の安全対策を実施します。また、当初2028年度から2030年度に予定していた大規模改修については、この工事期間内に前倒しして椅子の交換などできる範囲で実施する予定です。

工事関係各所には最大限の努力や工夫による工期の短縮化を要請しており、大学として一日も早い使用再開に向け、引き続き最善を尽くしてまいります。

奏楽堂が使用できない期間中も、第6ホール等の学内施設や学外の様々なホールを確保して演奏の機会を確保していく予定です。是非この機会に奏楽堂以外での藝大の演奏をお楽しみいただければ幸いです。

演奏藝術センター長
亀川 徹

本冊子の掲載データは 2026年9月末現在 のものです。今後予告なく日程・出演者・曲目等が変更になる場合もある他、中止・延期・非公開開催となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。最新の公演情報は、必ず本学のウェブサイトを直前にご確認ください。 https://www.geidai.ac.jp/

※情報の変更、内容の修正は適宜ウェブサイト等でお知らせいたします。

この冊子の使い方

本パンフレットには 2026 年度後期（2026 年 10 月から 2027 年 3 月）に開催される、東京藝術大学が主催する公開演奏会、および本学がその開催にあたって深く関わりを持つ演奏会を掲載しております。本学の敷地内にある、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校（藝高）の演奏会も一部掲載しました。

学内で行われる演奏会は、①開演時間②出演者③入場料④主催・問合せその他の各データを掲載しました。「木曜コンサート」《（財）台東区芸術文化財団と本学との共催》は、「旧奏楽堂」（上野公園内）で開催しますのでご注意ください。また、学内で行われる演奏会は、一部の例外を除き、未就学児の入場をお断りしておりますのでご了承ください。

なお、公開試験の一部（「学内演奏会」「学位審査演奏会」など）の情報は、順次、ウェブサイトにてご案内いたします。

コンサートをお楽しみいただくために

コンサートホールは、多くの方が一緒に楽しむ空間です。周囲の方々のこともご考慮いただき、お互い気持ちよく鑑賞できるよう心がけましょう。

- 演奏中の入退場はご遠慮ください。また遅刻された場合の入場も係員の指示に従ってください。
- ホール内では携帯電話、スマートフォンなどすべての電子機器の電源をお切りください。タブレット端末など光を発する機器も、周囲の方の鑑賞の妨げとなりますので、ご使用にならないようお願いいたします。
- 時計のアラームは設定の解除をお願いいたします。
- カメラ、スマホ、タブレット等、あらゆるデバイスでの写真撮影、録音、録画は著作権、肖像権の侵害にあたり禁止とさせていただいております。
- ホール内は小さな音でもよく響きます。鈴のついたキーホルダー、ビニール袋など、お手元の荷物から音が出ないよう、十分ご注意ください。大きなお手荷物は受付でお預かりいたします。
- 余韻も音楽の一部です。拍手は指揮者のタクトが下りるまでお待ちください。
- ホール内での飲食はご遠慮いただき、ホワイエをご利用ください。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 発熱等の体調不良時にはご来場をお控えください。
- そのほかの感染防止対策につきましては本学のウェブサイトをご覧ください。

補聴器をご利用のお客様へ　補聴器が正しく装着され、周囲に音が漏れていないかあらかじめご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

車椅子をご利用のお客様へ　車椅子にお座りいただいたままご鑑賞いただけるスペースをご用意しております。チケットのご購入に関しては、ヴォートル・チケットセンター TEL：03-5355-1280（平日10時～18時）までお問い合わせください。その他のご相談は、演奏藝術センター TEL：050-5525-2300 にて承ります。

地震が発生したとき

学内の音楽ホールは十分な耐震基準を満たした建物です。万が一、演奏中に大きな地震が発生した場合には、揺れがおさまるまで身を守って座席にてお待ちください。その後、避難が必要な事態になりましたら、係員が誘導いたしますので、その指示に従って落ち着いて行動してください。



巻頭特集 第11回 藝大たんけん隊

「DOORプロジェクト」を探検する!

芸術未来研究場 ケア&コミュニケーション領域 特任講師　藤原旅人

社会人と藝大生が共に学ぶ「Diversity on the Arts Project（DOOR）」


社会人と藝大生のグループワークの様子


地域の人々に向けたワークショップを実施

東京藝術大学では、「ケア×アート」をテーマに「多様な人々が共生できる社会」を支える人材を育成する履修証明プログラム Diversity on the Arts Project（以後、DOOR）を開講しています。2017年度から社会人を対象に開講し、2026年度は10期生が活動を展開しています。

DOORの大きな特徴は、東京藝術大学の学生と社会人受講生が一緒に学びを深めることにあります。開講する授業は学生も履修・聴講が可能であり、学生と社会人受講生は1年間のプログラムの中で、共にワークショップや作品制作を行い、議論や対話を深めることで互いに影響しあっています。

DOORの授業は、対面・オンライン授業とeアーカイブラーニングを設け、平日夜間や土日を中心に開講し、社会人が受講しやすい環境を整えています。新型コロナウイルスの流行を機にオンライン技術を授業に取り入れたことで、広く全国からも参加できるようになり、多様な背景や年代層、参加動機の異なる社会人が受講しています。2026年度は、北は北海道から、南は沖縄在住の受講生が集まり、海外からの受講生も受け入れています。2026年度の社会人受講生は143名、開講から9年で700名以上が修了しています。

また、2026年度より厚生労働省 教育訓練給付制度の対象講座となりました。


ドキュメンタリー映像作品の上映会

「ケア×アート」を思考し、実践するカリキュラム

授業は、必修科目、選択科目、DOOR特講、eアーカイブラーニングの4種類に分かれています。必修科目の「ダイバーシティ実践論」と「ケア原論」は、毎週

イラストレーション：水本 紗恵子

月曜日に開催するレクチャー形式の授業で、アーティスト、福祉やケアの専門家や実践者をゲスト講師として迎え、オムニバス形式の授業を展開しています。


全国から藝大に集まる社会人受講生

また、任意受講する選択科目は、より踏み込んで深く思考・実践する内容です。選択授業は6科目あり、対面の授業3科目とオンラインの授業3科目があります。ドキュメンタリー映像を制作しつつ、被インタビュー者との関わりからケアについて考える「ドキュメンタリー映像演習」。多様な人々が共に過ごす場をつくることを目指し、ワークショップやアートプロジェクトなどの制作や実践を行う「プログラム実践演習」。学外へのフィールドワークや半年間のグループワークを経て、地域社会における社会的課題を模索し解決策を提案する「ケア×フィールドワーク実践演習」など、授業内外で地域・社会や人々とつながりながら、多くの実践を経験することができます。


多くの授業では受講生同士が対話を重ねる

そして、DOOR特講はDOORでの学びを深める特別講義です。例えば、DOOR特講「クロッキー」は対象を素早く描写する実践を行いながら、他者を観察する行為を通し、ケアとアートについて考えていきます。

DOORを通じたつながりが全国に広がる


ケアやアートを実践する多様な分野の講師から学ぶ

DOORで1年間学んだ受講生は、多様な人々が共生できる社会環境を創造する活動として、アートプロジェクトに関わるほか、社会福祉施設などのケアの現場で活躍しています。また、修了生有志が立ち上げた「NEXT DOOR」というつながりも活発に活動しています。修了生それぞれが、DOORで培ったつながりを生かしながら、共生社会を支えるひとりとして、社会的な課題に働きかける活動を実践しています。

10年目を迎えた2026年度も「ケア×アート」を基軸として、領域を超え、共生社会を担う人材を支える学びの場を展開していきます。2027年度受講生募集は、秋に告知予定です。





DOORプロジェクトの
ウェブサイトはこちらから

“藝大の音楽”への入口

Geidai Music Portal
藝大ミュージック・ポータル



昨年夏に始動!本学の "音楽" に関する情報を手広く積極的に発信しています。
このページを開いてくださった方…どうか少しだけ、ご紹介のお時間を!

♪SNS（Instagram ／ X ／ Facebook）

演奏会の聴きどころやリハーサルの模様などを、写真や短い動画付きの投稿でご紹介!本来は学生や教職員しか見聴きできないような、藝大内部での練習や準備の光景、音楽が形になってゆく過程、その中のちょっとエモーショナルな／心温まるワンシーン…あなたも一人の藝大生としてそこに立ち会っているかのようにお見せします。制作の過程を知ることで、本番にも更なる魅力や楽しみが感じられるはず!各公演のチケット販売や入場申込の状況、当日券の有無なども適時シェアしています。

最も出番の多い、本学附属のプロ・オーケストラ＝藝大フィルハーモニア管弦楽団（藝大フィル）の出演公演をはじめ、学生たちの学びの場でもあるオーケストラ、吹奏楽、室内楽などの各種公演、各専攻の単独公演、附属音楽高校やジュニア・アカデミーの公演、公開の実技試験演奏会に至るまで、"藝大の音楽"に関する情報を手広く扱っています。

「藝大ってどんなところ?」「藝大フィルってどんなオーケストラ?」「モーニング・コンサートって?」「これってどんな曲?」などなど、実はよく知らない、でもちょっと気になっていた「藝大」や「音楽」への素朴な疑問のアレコレにも対応。投稿をチェックしているだけで、あなたもちょっとした藝大通／音楽通になれるかも?

ぜひ、フォローをお願いいたします!また「いいね!」やシェア／リポスト／再投稿などを通して、学生や教員、藝大フィルの音楽活動をご一緒に応援していただければ幸いです!

〈 Instagram 〉　〈 X 〉※旧 Twitter　〈 Facebook 〉



♪新Webサイトをオープン! ⇒

https://gmp.geidai.ac.jp/

本学の「音楽関係」に特化して情報をまとめた「藝大ミュージック・ポータル」のWebサイトを今年8月、新たにオープンしました!

このページの左上にもあるオリジナルのロゴマークは、本学の藝大のシンボルであるアカンサスの花をモチーフに、Musicの「M」に見立てて組み立てたもの。遠目に見ると音符のようにも見えます。本学の「芸術情報センター」教育研究助手の塩見瑠璃子さんによるデザインです。

「ポータル」を見に行けば、藝大の音楽関係のことは大抵わかる…そう思っていただけるような便利なサイトを目指し、順次コンテンツを充実させてゆきますので、ぜひご注目ください。





♪藝大はいま“杜から街へ”
いろいろな街でお届けするコンサートに、ぜひご来場ください！

1998年の開館以来30年近くにわたり学生・教員の音楽活動を支えてきた本学の大ホール「奏楽堂」は、2月末に発生した舞台上部 天井音響反射板の落下事故の影響で長期休館を余儀なくされています。しかし、音楽を止めるわけにはいきません。むしろ、これまで上野の杜の奥で育み磨いてきた私たちの音楽を、より多くの方に知って・楽しんでいただくため、いろいろな街のホールにコンサートをお届けすることにしました。

後期には多くの主催公演を学外で開催予定！ここでは11月の主なものをご紹介します。

11/6（金）藝大フィルハーモニア管弦楽団 定期演奏会　18:30～　戸田市文化会館 大ホール



本学の教員によるプロ・オーケストラ「藝大フィル」による、埼玉県で初の定期演奏会！

前半は、元NHK交響楽団首席チェロ奏者 **向山佳絵子** 准教授と、定番・ドヴォルザークの協奏曲で共演。圧巻の名演をお聴き逃しなく！

後半は昭和期に活躍した邦人作曲家2人の作品。**芥川也寸志《弦楽のための三楽章**（トリプティーク）》は弦楽器のみでの演奏。シリアスかつリズミカルで躍動的。非日常的な世界観に誘い込まれます。

映画『ゴジラ』シリーズの音楽で有名な**伊福部昭の《シンフォニア・タプカーラ》**は、アイヌ語で「立って踊る」を意味する題名の通り、これも躍動感に満ちた作品。祭り囃子のような賑々しさの中、フル・オーケストラの爽快なサウンドに浸ります。2曲とも、一定の音型などの繰り返しで音楽を展開する「オスティナート」の多用が特徴。素材を聴き取りやすく（理解しやすく）、ノリやすい音楽です。

指揮科 山下一史教授によるタクトのもと、血湧き肉躍るような名曲の数々をお楽しみください。

11/12（木）合唱定期演奏会（声楽&管弦楽）　18:30～　サンパール荒川 大ホール

今年の演目は「三大レクイエム」の一つ、荘厳ながらドラマティックな**ヴェルディのレクイエム**。

山下一史教授指揮のもと、**声楽科の大学院生4名の精彩に富む独唱**、同科の**学部生およそ160名によるフレッシュで迫力ある合唱**、そして熟練の藝大フィルが織りなす壮大なハーモニーに包まれます。

11/18（水）藝大定期「邦楽」　17:00～　日本橋公会堂

雅楽、尺八、箏曲、能楽、日本舞踊など、日本が世界に誇る多種多様な伝統音楽に、**それぞれちょっとずつ、一夜にして気軽に**、それも各分野のエキスパートである邦楽科教員とその門下で研鑽を積む学生たちによる本格的な演奏で触れる…そんな贅沢な体験ができるのはここだけ！

ずっと気になっていたけど、なかなか敷居を越えられない…という方にもオススメです。

11/19（木）東京藝大シンフォニーオーケストラ定期演奏会　18:30～　さいたま市文化センター 大ホール



弦・管・打楽器専攻生によるフル・オーケストラが、山下一史 指揮科教授による指導・リハーサルを経て、その学びと研究の成果を、さいたま市で披露！今回はディズニー映画でもお馴染み**《眠りの森の美女》**や、デンマークを代表する作曲家**ニールセンの交響曲第2番**などを掘り下げます。藝大生たちの、常に期待を超える渾身の合奏をお楽しみに！

演奏会の成功には、聴いてくださるたくさんのお客様が欠かせません。ぜひともご来場ください！

チケット情報ほか詳細は「ポータル」 Webサイトに掲載中。QRコードからご覧ください！

♪ここまでお読みいただき、ありがとうございました！

写真・文：音楽学部 特任講師（広報強化担当）山田 大

Concert Schedule 2026 Oct.→2027 Mar.

本冊子の掲載データは2026年9月末日現在のものです。
今後予告なく日程・出演者・曲目等が変更になる場合がある他、中止・延期・非公開開催となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
最新の公演情報は、必ず本学のウェブサイトを直前にご確認ください。https://www.geidai.ac.jp/

学生および高校生以下のチケットをお求めの方は、当日学生証をお持ちください。

2026.10 OCTOBER

①開演時間　②出演者　③入場料　④その他

3(土)、4(日)　第6ホール

藝大オペラ定期第72回

◎チマローザ：歌劇《秘密の結婚》
①14:00　②大学院音楽研究科オペラ専攻生、佐藤宏充(指揮)、粟國淳(演出)、藝大フィルハーモニア管弦楽団 他
③無料(要事前申込)　④予定枚数終了

11(日)　大学本部棟1階

2026年度ディバイジング演劇ワークショップ成果発表

①13:00／17:00　②ワークショップ受講生
③無料(要事前申込)
④申込方法は演奏藝術センターウェブサイトに掲載

15(木)　旧東京音楽学校奏楽堂(上野公園内)

木曜コンサート(古楽)

①14:00　③800
④問合せ：旧東京音楽学校奏楽堂 TEL 03-3824-1988

29(木)　第1ホール

宮城道雄と楽器開発
―宮城道雄没後70年に寄せて

◎宮城道雄：《落葉の踊り》、《今日のよろこび》、《湖辺の夕》、《夢殿》
①19:00　②藤原道山(尺八)、帯名久仁子／日吉章吾(箏曲)、箏曲生田流専攻学生、仲辻真帆(お話)
③無料(要事前申込)　④予定枚数終了

過去の公演から



2025.10.4&5　オペラ定期 歌劇《ドン・ジョヴァンニ》



2025.11.1　上野の森オルガンシリーズ「J.S.バッハから次世代へ～受け継がれるファンタジーの精神～」



2025.10.10　藝大フィルハーモニア管弦楽団定期演奏会



2025.11.8　芸大とあそぼう in 北とぴあ「天才作曲家・ベルリオーズの見る夢は？」

藝大プロジェクト2026

ファリャ《ペドロ親方の人形芝居》

── 音楽・人形・美術をつなぐファリャ生誕150年企画 ──

舞台の上で人形芝居が始まる。それを見ていた一人の男が、いつしか芝居と現実の区別を失っていく。そしてついには、物語の登場人物を救おうと目の前の舞台を壊してしまう──。なんとも奇妙で、どこか可笑しいこの物語を音楽にしたのが、スペインの作曲家マヌエル・デ・ファリャの《ペドロ親方の人形芝居》です。

2026年はファリャの生誕150年。スペインの民俗的な素材やフラメンコ、古典文学、さらには同時代のフランス音楽など、さまざまな文化を吸収しながら独自の音楽世界を築いたファリャを、今年の藝大プロジェクトでは多角的に取り上げます。その中心となるのが、この一風変わった舞台作品です。

原作はセルバンテスの『ドン・キホーテ』。旅芸人ペドロ親方が宿屋で人形芝居を披露していると、観客の一人であるドン・キホーテが、劇中で危機に陥った登場人物たちを本当に助けなければならないと思い込み、人形たちに斬りかかってしまいます。「芝居を見る人」がいつの間にか「芝居の中に入り込んでしまう」という、劇中劇ならではの仕掛けをもった作品です。上演時間はわずか30分ほど。しかし、その小さな舞台には、歌、語り、室内オーケストラ、そして人形芝居と、実にさまざまな表現が詰め込まれています。

今回の公演では、「人形」そのものをつくるところから企画が始まっています。日本を代表する人形劇団・ひとみ座の協力・監修のもと、美術学部を中心とする藝大生たちが、人形や舞台美術の製作に参加しています。音楽を演奏する人、人形をつくる人、それを動かす人。それぞれ異なる専門をもった人たちが集まり、一つの作品を形にしていく。藝大ならではの領域横断的な試みです。

さらに公演前半には、ファリャの代表的な歌曲集《7つのスペイン民謡》と、声楽と室内楽による幻想的な作品《プシュケ》も演奏します。スペインの民俗音楽からフランス近代音楽にも通じる洗練された響き、そして《ペドロ親方》の劇場世界へ。三つの作品を通して、ファリャという作曲家のさまざまな顔をたどります。

虚構を現実と思い込んだドン・キホーテは、舞台を壊してしまいました。では私たちは、目の前に立ち上がる「もう一つの世界」をどこまで本物として感じることができるのでしょうか。演奏者、人形遣い、そして観客との距離も近い千住校地・第7ホールで、ファリャがつくった小さな劇場世界をぜひ体験してください。

楠田健太（演奏藝術センター）



人形・舞台美術製作の様子

2026.11 NOVEMBER

①開演時間　②出演者　③入場料　④その他

1(日)　聖グレゴリオの家 聖堂

オルガンシリーズ2026
Variatio delectat ～変奏のよろこび～

◎J.S.バッハ:《ようこそ、優しきイエスよ》によるパルティータ BWV 768
◎近藤岳:《3つのストラクチュール ～2台のポジティフ・オルガンのための～》より
第3曲〈ジャメ・ヴュ ― ある恋の主題について〉
◎シュッツ:《小宗教コンチェルト》より〈優しく親しき主よ〉 他
①15:00　②廣江理枝／徳岡めぐみ／近藤岳(Org)、野々下由香里(Sop)　③一般4,000、学生2,000

4(水)　北とぴあ さくらホール

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校
第38回定期演奏会

◎四世杵屋三郎助:外記猿
◎宮城道雄:編曲 八千代獅子
◎フォーレ:レクイエム
◎ブラームス:交響曲第2番
①18:00　②梅田俊明(指揮)、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校生徒 他　③S席2,000、A席1,000

6(金)　戸田市文化会館 大ホール

藝大フィルハーモニア管弦楽団定期演奏会
(藝大定期第436回)

◎ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 ロ短調
◎芥川也寸志:《弦楽のための三楽章》
◎伊福部昭:《シンフォニア・タプカーラ》
①18:30　②向山佳絵子(Vc)、山下一史(指揮)、藝大フィルハーモニア管弦楽団　③S席5,500、A席4,000、学生S席3,000、学生A席2,000

7(土)　外部主催　北とぴあ さくらホール

芸大とあそぼう in 北とぴあ
「くもの糸、かまきりの鎌～芥川龍之介没後99年によせて」

◎フランク:《パニス・アンジェリカス(天使の糧)》
◎オッフェンバック:《天国と地獄》序曲
◎芥川也寸志:舞踏組曲《蜘蛛の糸》より、《交響管弦楽のための音楽》、童謡《小鳥のうた》、《ぶらんこ》 他
①11:00 & 14:00(2回公演)　②関口直仁(Bar)、瀧本真己／林眞美(Sop)、瀬戸口郁(俳優)、田尻真高(指揮)、東京藝術大学学生&卒業生有志オーケストラ、東京滝野川少年少女合唱団、大石泰(企画・構成)　③1階席2,000、2階席1,500(北区民は各500引き)※0～2歳は保護者膝上鑑賞に限り無料(席が必要な場合は要チケット)、3歳以上要チケット
④問合せ:(公財)北区文化振興財団 TEL 03-5390-1221

12(木)　サンパール荒川 大ホール

藝大フィルハーモニア管弦楽団 合唱定期演奏会
(藝大定期第437回)

◎ヴェルディ:《レクイエム》
②18:30　③岡本なつみ(Sop)、佐藤真子(Mez)、田中裕太(Ten)、加野喬大(Bas)、東京藝術大学音楽学部声楽科学生(合唱)、山下一史(指揮)、福永一博(合唱指揮)、藝大フィルハーモニア管弦楽団　③S席6,000、A席4,000、学生S席3,000、学生A席2,000

18(水)　日本橋公会堂

藝大定期邦楽 第92回
～邦楽科開設90周年記念～

◎雅楽『盤渉調 竹林楽』
◎尺八(琴古流・都山流)『吹き合わせ 鹿の遠音・鶴の巣籠』
◎能楽宝生流 仕舞『岩船』
◎能楽観世流 舞囃子『葛城 大和舞』
◎清元・日本舞踊『薫る寿』
◎箏曲生田流『夢殿』
◎現代邦楽囃子『月にむかって打て』
◎箏曲山田流『須磨の嵐』
◎長唄・邦楽囃子『舌出し三番叟』
①17:00　②観世清和／宝生和英(特別出演)、味見純、柴田靖代、萩岡未貴、帯名久仁子、藤原道山、藤波重彦、水上優、盧慶順、花柳輔太朗、邦楽科教員・学生　③4,000

19(木)　さいたま市文化センター 大ホール

東京藝大シンフォニーオーケストラ
第74回定期演奏会 in さいたま
(藝大定期第438回)

◎ブラームス:《大学祝典序曲》
◎チャイコフスキー:《眠りの森の美女》組曲
◎ニールセン:交響曲第2番《四つの気質》
①18:30　②山下一史(指揮)、東京藝大シンフォニーオーケストラ　③S席4,000、A席3,000、B席2,000、学生S席2,000、学生A席1,500、学生B席1,000

19(木)　旧東京音楽学校奏楽堂(上野公園内)

木曜コンサート(声楽)

①14:00　③800
④問合せ:旧東京音楽学校奏楽堂 TEL 03-3824-1988

20(金)　第6ホール

第Ⅱ期オペラハイライト

◎ドニゼッティ:《ドン・パスクアーレ》より
◎ロッシーニ:《セヴィリアの理髪師》より
◎プッチーニ:《ラ・ボエーム》より抜粋 他
①14:00　②オペラ専攻大学院生 他　③無料(要事前申込)
④申込方法は藝大ウェブサイトに掲載

21(土)　第6ホール

東京藝大ウィンドオーケストラ定期演奏会
(藝大定期吹奏楽第102回)

◎メンデルスゾーン:《ハルモニームジークのための序曲》
◎バーバー:《コマンド・マーチ》
◎ヒグドン:《アスパイア》
◎ミヨー:《フランス組曲》
◎ムソルグスキー(ハインズレー編曲):組曲《展覧会の絵》
①14:00　②大井剛史(指揮)、東京藝大ウィンドオーケストラ
③無料(要事前申込)　④申込方法は藝大ウェブサイトに掲載

23(月・祝)　外部主催　東京芸術劇場コンサートホール

第17回音楽大学オーケストラ・フェスティバル2026
(東京藝大&桐朋学園)

◎ニールセン:交響曲第2番《四つの気質》
①15:00　②山下一史(指揮)、東京藝大シンフォニーオーケストラ　③1,500

26(木)　第6ホール

モーニング・コンサート11

◎R.シュトラウス:〈ツェツィーリエ〉、〈花を編みたかった〉、〈ばらのリボン〉
◎グノー:《ファウスト》より〈トゥーレの王〉～〈宝石の歌〉
◎サン=サーンス:ピアノ協奏曲第2番
①19:15　②柏原雅(Sop)、島田瑚子(Pf)、高井優希(指揮)、藝大フィルハーモニア管弦楽団　③無料(要事前申込)
④申込方法は藝大ウェブサイトに掲載

28(土)　第7ホール(千住キャンパス)

藝大プロジェクト2026

ファリャ《ペドロ親方の人形芝居》
～音楽・人形・美術をつなぐ～(ファリャ生誕150年企画)

◎ファリャ:《7つのスペイン民謡》、《プシュケ》、《ペドロ親方の人形芝居》
①14:00 & 17:00(2回公演)　②佐藤宏充(指揮)、井澤友香理(演出)、小泉詠子(Mez)、西山詩苑(Ten)、大川博(Bar)、城戸かれん(コンサートマスター)、髙木由雅(Pf)、藝大プロジェクト2026特別オーケストラ、人形劇団ひとみ座／藝大生有志(人形芝居)　③無料(要事前申込)
④申込方法は藝大ウェブサイトに掲載

過去の公演から


2025.11.7　合唱定期演奏会


2025.11.19　邦楽定期


2025.11.20　東京藝大シンフォニーオーケストラ定期演奏会


2025.11.22　藝大プロジェクト《アルルの女》

2026.12 DECEMBER

①開演時間　②出演者　③入場料　④その他

4(金)　銀座プロッサム中央会館 ホール

佐々木典子 退任記念コンサート

◎R.シュトラウス:《4つの最後の歌》
歌劇《薔薇の騎士》より抜粋 他
①18:30　②佐々木典子(Sop)、加納悦子(Mez)、千葉かほる／井手德彦(Pf)、広瀬大介(構成・字幕)、今井伸昭(演出)
③一般2,000、学生1,000、日本リヒャルト・シュトラウス協会会員1,000　④問合せ:日本リヒャルト・シュトラウス協会 TEL 03-3582-1266

13(日)　第6ホール

第2回台日伝統音楽交流演奏会 《伝統音楽の発展と未来》
～国立台湾藝術大学を迎えて

◎台湾細曲『酔扶登楼・大八板』(古箏、簫、二胡、琵琶、揚琴)
◎台湾民謡『思想起』、『殼仔弦・大広弦と楽隊』より抜粋
(殼仔弦、大広弦、絲竹楽団)
◎雅楽『双調 酒胡子』
◎能楽観世流・独吟『邯鄲』
◎能楽宝生流・独吟『楊貴妃』
◎尺八『鶴の巣籠』
◎箏曲山田流『赤壁賦』(洞蕭共演)
◎長唄・邦楽囃子『操三番叟』
◎箏曲生田流『春の詩集』
◎田村文生:《Forest of Whispers ～囁きの森》(台日共演曲、初演)
①15:00 ②吳孟珊(胡琴)、陳崇青(彈撥)、国立台湾藝術大学中国音楽学科教員・学生、田村文生(指揮)、味見純、柴田靖代、萩岡未貴、帯名久仁子、藤原道山、藤波重彦、水上優、盧慶順、東京藝術大学邦楽科教員・学生 ③無料(要事前申込)
④申込方法は藝大ウェブサイトに掲載

15(火)　第6ホール

第III期オペラ・ハイライト(演奏会形式)

◎モーツァルト:《魔笛》より抜粋
①19:00　②オペラ専攻大学院生、東京藝大チェンバーオーケストラ　③無料(要事前申込)
④申込方法は藝大ウェブサイトに掲載

16(水)　シアター1010

第19回奏楽堂企画学内公募
《Welcome to...》

◎佐藤伸輝・たこミ:フルート協奏曲(委嘱新作)
◎サーリアホ:オペラ《エミリー》
①18:30　②菊地奏絵(企画／Fl)、石山夢乃(Sop)、高橋星花(指揮)、藝大有志オーケストラ　③無料(要事前申込)
④申込方法は藝大ウェブサイトに掲載

22(火)　外部主催　すみだトリフォニーホール 大ホール

第76回チャリティー・コンサート
メサイア公演

◎ヘンデル:《メサイア》
①18:30　②岡本なつみ(Sop)、佐藤真子(Alt)、齋藤傑(Ten)、泉晴明(Bas)、東京藝術大学音楽学部声楽科学生(合唱)、梅田俊明(指揮)、藝大フィルハーモニア管弦楽団
④問合せ:朝日新聞厚生文化事業団 TEL 03-5540-7446



2025.3.27　奏楽堂企画学内公募演奏会「木の音楽会 in 奏楽堂～出会いとはじまり～」



2025.10.25　戦後80年特別企画「戦時下の音楽教育 東京音楽学校でアジア人留学生が学んだもの」

過去の公演から



2024.11.3　うたシリーズ「愛をうたう」

まちを描く、まちを弾く
フィールドワークから創作へ


東京藝大取手キャンパス

私たち演奏藝術センターと、谷中にある芸術未来研究場（通称：藝大部屋）は、これまで、美術や音楽といったジャンルに限定されない、社会に開かれた企画を通して、学生同士が学科や専門を越えて交流できる場を考えてきました。今年もそんな企画ができないかと考えていたところ、2月にある出来事が起きました。ご存知の方もいるかもしれませんが、今年2月、奏楽堂で天井反響板の落下事故があり、その影響で、奏楽堂で予定されていた多くの公演が学外のホールなどで行われることになりました。

そこで今回は、普段学生たちが創作や発表を行っているホールや練習室、アトリエ、ギャラリーからいったん外へ出てみることにしました。街にあふれているさまざまな音や風景に目を向け、自分たちが普段いる場所をあらためて見つめ直してみよう、という企画です。

寺山修司の「書を捨てよ、町へ出よう」という言葉ではありませんが、実際に街へ出て、自分たちがいる場所はどんなところなのかを調べたり、歩いたり、観察したりすることで、普段の専門や学科を越えて見えてくるものがあるのではないか。そんなところから、この企画は始まりました。

藝大は上野だけにあるわけではありません。千住、取手、馬車道、有楽町、そして最近では香川や浦安などにも拠点が広がっています。それぞれの場所には、歴史あるお寺や史跡があったり、さまざまな文化が混じり合っていたり、豊かな自然が残っていたり、あるいはビルが立ち並ぶ都市の中心だったりと、まったく異なる「場所の個性」があります。

今回の企画では、さまざまな分野で活動するゲストと一緒に、それぞれの街を実際に歩きながらフィールドリサーチを行います。ゲストには、フィールドレコーディングの作家・研究者の柳沢英輔さん、採集者・グラフィックデザイナーの吉田勝信さん、土木や景観デザインを研究する八馬智さん、街で撮った写真を楽譜に見立てて音楽をつくる西村直晃さん、そして現代美術家の田村友一郎さんをお迎えします。それぞれ違った視点を持つゲストと街を歩くことで、普段なら見過ごしてしまうようなものや音、風景が見えてくるかもしれません。


オリエンテーションの様子（於：藝大部屋）

そして、そこで得た体験や発見をもとに、最後には参加した学生たちがそれぞれの作品へと展開していきます。街を歩くことで、いったいどんな発見があり、どんな作品になっていくのか。ぜひ3月、周囲の散歩もしながら藝大部屋にお立ち寄りください。

植村真（演奏藝術センター）

2027.2 FEBRUARY

①開演時間　②出演者　③入場料　④その他

4(木)　横浜みなとみらいホール 大ホール

モーニング・コンサート12

◎江田士恩：Re: Silent Letter
◎デュプレ：オルガン協奏曲
①11:00　②江田士恩(作曲)、安達柚季(Org)、高井優希(指揮)、藝大フィルハーモニア管弦楽団　③未定

6(土)、7(日)　第6ホール

藝大定期室内楽 第53回

詳細後日発表
③無料(要事前申込)　④申込方法は藝大ウェブサイトに掲載

12(金)　日本製鉄紀尾井ホール

東京藝大チェンバーオーケストラ
第48回定期演奏会

◎ブルックナー：弦楽五重奏曲より「アダージョ」(弦楽合奏版)
◎ハルトマン：ヴァイオリンと弦楽のための葬送協奏曲
◎ブリテン：フランク・ブリッジの主題による変奏曲
①19:00　②金川真弓(Vn)、東京藝大チェンバーオーケストラ　③S席4,000、A席2,500、学生S席2,000、学生A席1,300

15(月)　Hakuju Hall

創造の杜2026

詳細後日発表

19(金)　日本製鉄紀尾井ホール

菅英三子 退任記念演奏会

◎ベッリーニ：歌劇《カプレーティ家とモンテッキ家》より〈おお、幾度か〉
◎グリエール：《コロラトゥーラ・コンチェルト》他
①19:00　②菅英三子(Sop)、髙木由雅／多田聡子／千葉かほる(Pf)　③無料(要事前申込)
④申込方法は藝大ウェブサイトに掲載

28(日)　日本製鉄紀尾井ホール

伊藤恵 退任記念演奏会

◎ベートーヴェン：ピアノソナタ第30番、ピアノソナタ第31番、ピアノソナタ第32番
①14:00　②伊藤恵(Pf)　③無料(要事前申込)
④申込方法は藝大ウェブサイトに掲載

過去の公演から



2026.2.7&8　室内楽定期



2026.2.15　東京藝大チェンバーオーケストラ定期演奏会



2024.11.3　うたシリーズ「愛をうたう」



2024.10.12　ピアノシリーズ 音楽の至宝vol.10「2台ピアノで綴る名曲の午後」

2027.3 MARCH

①開演時間　②出演者　③入場料　④その他

18(木)　第6ホール

モーニング・コンサート13

◎イベール：フルート協奏曲
◎R.シュトラウス：オーボエ協奏曲
①11:00　②永留泰斗（Fl）、沼津冬秋（Ob）、梅田俊明（指揮）、藝大フィルハーモニア管弦楽団
③無料（要事前申込）　④申込方法は藝大ウェブサイトに掲載

18(木)　旧東京音楽学校奏楽堂（上野公園内）

木曜コンサート（指揮）

①14:00　③800
④問合せ：旧東京音楽学校奏楽堂 TEL 03-3824-1988

25(木)　旧東京音楽学校奏楽堂（上野公園内）

木曜コンサート（室内楽）

①14:00　③800
④問合せ：旧東京音楽学校奏楽堂 TEL 03-3824-1988

27(土)　外部主催　ミューザ川崎シンフォニーホール

28(日)　外部主催　東京芸術劇場コンサートホール

第16回音楽大学フェスティバル・オーケストラ

◎レスピーギ：《リュートのための古風な舞曲とアリア》より第3組曲、交響詩《ローマの噴水》、《ローマの祭》、《ローマの松》
①15:00　②ユベール・スダーン（指揮）、音楽大学フェスティバル・オーケストラ（首都圏8音楽大学選抜オーケストラ）
③2,500
④問合せ：東京芸術劇場ボックスオフィス TEL 0570-010-296、ミューザ川崎シンフォニーホール TEL 044-520-0200

28(日)　第6ホール

東京藝大ジュニア・アカデミー
第10回成果披露演奏会

◎モーツァルト：ピアノ協奏曲第27番より第1楽章
◎ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番より第1楽章
◎グリーグ：ピアノ協奏曲より第1楽章
◎チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲より第1楽章
①第1部 11:20／第2部 14:10　②東京藝大ジュニア・アカデミー 第8，9，10期生、迫昭嘉（指揮）、藝大フィルハーモニア管弦楽団　③無料（要事前申込）
④申込方法は藝大ウェブサイトに掲載

30(火)　旧東京音楽学校奏楽堂（上野公園内）

第20回奏楽堂企画学内公募

詳細後日発表

過去の公演から



2026.5.17　管打楽器シリーズ「フレッシュコンサート」



2025.6.6　創造の杜 藝大現代音楽の夕べ



2026.8.7　キッズユースオープンキャンパス「藝大とあそぼう 打楽器解体新書」

前期のコンサート一覧（2026年4月～9月）

● 4月16日（木） 14：00
木曜コンサート（ピアノ）
旧東京音楽学校奏楽堂（上野公園内）

● 4月18日（土） 14：00
同声会新人演奏会 第1日
オルガン、ピアノ、弦楽器
第6ホール

● 4月19日（日） 14：00
同声会新人演奏会 第2日
邦楽、管打楽器、声楽
第6ホール

● 4月23日（木） 19：00
藝大フィルハーモニア管弦楽団定期演奏会
（藝大定期第433回）
第7ホール

● 5月17日（日） 14：00
管打楽器シリーズ2026
フレッシュ・コンサート
第6ホール

● 5月21日（木） 14：00
木曜コンサート（弦楽）
旧東京音楽学校奏楽堂（上野公園内）

● 5月21日（木） 19：45
モーニング・コンサート1
第6ホール

● 5月23日（土） 15：00
室内楽講座コンサート2026
～学生と教員による～
第6ホール

● 5月28日（木） 19：45
モーニング・コンサート2
第6ホール

● 6月4日（木） 19：45
モーニング・コンサート3
第6ホール

● 6月11日（木） 19：00
東京藝大シンフォニーオーケストラ
第73回定期演奏会（藝大定期第435回）
第6ホール

● 6月14日（日） 15：00
東京藝大チェンバーオーケストラ
第47回定期演奏会
第6ホール

● 6月18日（木） 14：00
木曜コンサート（邦楽）
旧東京音楽学校奏楽堂（上野公園内）

● 6月18日（木） 19：45
モーニング・コンサート4
第6ホール

過去の公演から


2026.7.8　東京藝大ウィンドオーケストラ定期演奏会


2026.5.21　モーニング・コンサート1


2026.5.28　モーニング・コンサート2

● 6月19日(金) 14:00
第Ⅰ期オペラハイライト
第6ホール

● 6月25日(木) 14:00
木曜コンサート(作曲)
旧東京音楽学校奏楽堂(上野公園内)

● 6月25日(木) 19:45
モーニング・コンサート5
第6ホール

● 7月2日(木) 19:45
モーニング・コンサート6
第6ホール

● 7月5日(日) 17:00
藝大第九
〜チャリティコンサート vol.10〜

● 7月8日(水) 19:00
東京藝大ウィンドオーケストラ定期演奏会
(藝大定期吹奏楽第101回)
新宿文化センター 大ホール

● 7月16日(木) 14:00
木曜コンサート(オペラ・指揮)
旧東京音楽学校奏楽堂(上野公園内)

● 7月16日(木) 19:45
モーニング・コンサート7
第6ホール

● 7月23日(木) 14:00
木曜コンサート(打楽器)
旧東京音楽学校奏楽堂(上野公園内)

● 7月23日(木) 19:15
モーニング・コンサート8
第6ホール

● 7月30日(木) 11:00
モーニング・コンサート9
第6ホール

● 8月7日(金) 11:30 ／ 14:30
キッズユースオープンキャンパス
「藝大とあそぼう」
美術学部大石膏室

● 8月20日(木) 14:00
木曜コンサート(ピアノ)
旧東京音楽学校奏楽堂(上野公園内)

● 8月29日(土) 11:00
モーニング・コンサート10
第6ホール

● 9月10日(木) 14:00
木曜コンサート(木管・金管)
旧東京音楽学校奏楽堂(上野公園内)

● 9月10日(木) 19:00
JAZZ in 藝大 2026
〜ジャズ・コンテンポラリー・
アンサンブル発表会&レクチャー〜
第6ホール


2026.6.25 モーニング・コンサート5


2026.7.30 モーニング・コンサート9


2026.9.10 JAZZ in 藝大「ジャズ・コンテンポラリー・アンサンブル発表会&レクチャー」

特別寄稿

音楽と美術のあいだに横たわる外部

東京芸術大学の上野キャンパスは、都道を挟んで基本的に音楽学部と美術学部が別れている。近年では両学部の交流が授業をはじめとして盛んになってきたけれども、かつては総合大学といえどもその交流は「藝祭」や学食などごく限られたものだった。だからこそ「都道をなくせばよい」という意見はよく聞くもので、そもそも両学部の分断を解消すべきだという考えは、学生教職員を問わず、全学的に共有されているものだと思う。演奏藝術センター（Performing Arts Center）はまさにこの断絶を乗り越えて協働するための組織として機能し、学部等を横断して履修できる舞台芸術などの授業や、音楽にとどまらない舞台芸術の上演などに取り組んでいる。しかし、音楽学部と美術学部のあいだに流れる道路は文字通り外部であって、それはかんたんに無くなるものではない。なぜなら音楽学部と美術学部は、もとに一緒だったものが分断されたのではなくて、もともとがまったく異なるものだったからである。

我が国は「開国」し、1868年に明治新政府を樹立してから「近代化」と「西洋化」のふたつを同時に行なっていった。このなかで生まれ、かたちになっていったのが東京芸術大学である。

東京芸術大学美術学部の前身は、1887年に創立された東京美術学校であるが、実は日本で最初の官立美術学校は、1876年に創立された工部美術学校である。イタリアから招聘されたお雇い外国人たちが、絵画と彫刻に関して、西洋美術を教えた。しかし1882年には閉校してしまう。

アメリカ生まれの哲学者アーネスト・フェノロサ（1853 〜 1908）が、東京大学の教授として1878年に来日する。彼は次第に日本美術に強い関心を示すようになり、東大の学生であった岡倉天心（1863 〜 1913）と共に奈良や京都へ幾度も訪れて日本美術の収集と研究を始める。当時は、明治新政府が出した神仏分離令をきっかけに、いわゆる廃仏毀釈運動が盛んになっており、その結果として多くの仏教建築、仏像、仏画が破壊されていった時期であった。フェノロサは「日本人が思っているより、西洋画と比べても日本画には多くの美点がある。これは廃れてよいのか」と考え、天心と共に日本美術復興の必要性を訴える。文部省に入省していた天心の働きによって、1884年に「図画調査会」が設置され、翌年には東京美術学校設立のための組織として「図画取調掛」に組織変更される。フェノロサは東大を退職してこの組織の委員となった。そして天心とフェノロサの働きによって、1887年に東京美術学校が創立され、天心は初代校長となるのであった。

東京美術学校の成立の要因にはフェノロサという日本の外部からの目によって評価された日本美術があり、「西洋化」もありつつも、日本の美術を「近代化」するために多くの先達たちが奔走した歴史があるのだ。そこでは開国以前の日本の歴史との接続を持ったまま、新たな芸術が作られていった。

次は音楽を見てみよう。

文部省に「音楽取調掛」が設置されたのは、美術（図画）に先立つ1879年である。こちらの重要人物は、「ちょうちょ〜ちょうちょ〜」の唱歌で知られる伊澤修二（1851〜1917）だ。信濃国の出身、エリートコースを歩んだ伊澤は1872年、設置されたばかりの文部省に入省し、弱冠24歳で愛知師範学校の初代校長となる。そして西洋の近代教育を学ぶため、国の代表として1875年にアメリカへ留学する。師範学校へ入学し、現地の学生たちに混じって2年間の教師育成プログラムを履修し、ほとんどのコースを難なくクリアする。しかし彼にはどうしてもできない科目があった。それが「音楽（唱歌）」である。伊澤はどうしても「ドレミファソラシド」が歌えなかった。彼は歌の個人レッスンに通って、なんとか西洋の音階を学んだ。

日本人は西洋式のドレミを歌えない。伊澤はコンプレックスを抱えたのだろう。彼は文部省へ「音楽取調掛」の設置を提案する。1879年にこれが実現されると、彼は自らの個人レッスンを担当してくれたアメリカの音楽教育家を日本に招聘する。1881年には日本で最初の『小学唱歌集』を出版。そして伊澤の尽力によって、1887年に東京音楽学校が開校され、伊澤は初代校長に就任した。日本で初めてのホール建設、オペラ上演、ベートーヴェンなどクラシック作品の初演などが行われていく。ここで行われていたのはあくまで、基本的には西洋音楽である。箏曲などを学ぶこともできたが「邦楽科」が設置されるのは昭和になってから、1936年まで待たねばならない。基本的には「西洋の音楽を取り調べて、実践する」、それがここで行われていたことである。そしてその基本姿勢は（一部の科を除いて）現在でも音楽学部に続いている。例えば器楽科の入試課題曲はほとんどすべて西洋のものであるし、作曲科の入試課題に設定されている楽器はすべて西洋楽器である。

なお、伊澤は公的教育から退いたあとの1903年に「楽石社」という吃音矯正所を設立している。ここでは吃音の矯正のほかに、「正しい日本語」のために訛りを矯正することも行われていた。伊澤は信濃国の出身でもともと訛りがあったし、彼の弟は吃音だった。勤勉な伊澤にとってコンプレックスとは、受け入れるものではなく、直し、正すべきものだったのだろう。

東京音楽学校が成立していく過程には、まず日本人のドレミに対するコンプレックスというものがあった。そこではグローバルな基準の音楽を作るため、すなわち音楽を「近代化」するために、日本語での唱歌など新たな創作が行われながらも、基本的には日本の音楽を「西洋化」していく機関として東京音楽学校は存在した。それから1世紀以上が経ち、この学校の出身者はヨーロッパをはじめとした世界の舞台で、西洋人に「劣る」ことなく活躍している。

音楽学部と美術学部の違いは、単に出発時点だけの違いではない。いまでも創作を中心とする美術学部と、主には西洋音楽を取り調べることを中心とする音楽学部では、根本的に芸術に対しての姿勢や思想が異なる。このことを理解したうえで、両学部に横たわるあの都道を渡ってみると、何かが見えてくるかもしれない。

布施砂丘彦（元演奏藝術センター教育研究助手／音楽批評家）


STEINWAY & SONS
170年の伝統が紡ぎ出す
至高の響き
1853年創業より受け継がれる
ピアノづくりの情熱と技術
語り継がれる比類なき音色と響き
コンサートでソロピアニストの97%に選ばれる
音楽を愛する者の期待に応えるピアノです
STEINWAY & SONS
NEW YORK HAMBURG
Steinway & Sons Japan, Ltd.
Tel : 03-5251-6550
ブランドについての詳細やイベントのご案内
などを公式Webよりご覧いただけます
www.steinway.co.jp

YAMAHA
MUSIC FOUNDATION

音楽がもたらす新しい可能性を追求する

ヤマハ音楽研究所

日々、世界中で音楽に関する研究が行われ、新たな知見が生み出されています。
音や音楽にかかわる研究は、音楽の歴史や理論を扱ったものをはじめ、
心理学、社会学、音響学、近年では脳科学などとも結びついて、学際的な発展をみせています。

ヤマハ音楽研究所は、音楽といっそう真摯に、
深く向き合っていくために、内外の専門家と協働して、
音楽とひと、あるいは音楽と心や身体の関係をテーマとして研究活動を行っています。

音楽に関する研究活動

教育・心理・医学・工学など
多様な分野の視点から
音楽を科学的に
探究しています。

音楽教育を支える先端技術の探究

学習管理システムや
音楽教育に関わる先端的な
インタラクティブ技術の開発にも
力を注いでいます。

「ヤマハ音楽研究所」情報Webサイト

ON-KEN SCOPE

音楽×研究

ずっと、音楽と一緒に。

生まれた時から、そして大人になっても、
音楽は私たちの暮らしに溶け込んでいます。
「ON-KEN SCOPE」には、
そんな音楽がより身近に感じられる記事や、
より深い知識が得られる記事など、
今日から役に立つ情報が満載です。

音楽×研究
ON-KEN
SCOPE

ヤマハ音楽研究所
〒153-8666
東京都目黒区下目黒3-24-22
ヤマハ音楽振興会
https://www.yamaha-mf.or.jp/activities/research/

音楽×研究

上野の杜によみがえる江戸の味と粋





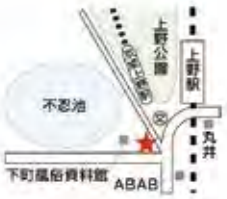
上野池之端
鰻割烹 伊豆榮
https://izuei.co.jp

本　店　台東区上野2-12-22　TEL 03-3831-0954
不忍亭　台東区上野2-11-19　TEL 03-3832-0785
梅川亭　台東区上野公園4-34　TEL 03-5685-2011

ハヤシライス
一週間以上かけて作る
デミグラスソースの味わい。



洋食
黒船亭
KUROFUNE-TEI
UENO TOKYO



お食事だけで終く、ミニライブ・コンサートが行える
多目的スペース完備。洋食と、ワインと、音楽と、
楽しいひとときをご用意致します。

営業時間　11:30～21:45（21:00LO）月曜定休
台東区上野2-13-13キクヤビル4F
電話：03-3837-1617
https://www.kurofunetei.co.jp/



上野公園前
あんみつ みはし

上野本店　台東区上野4-9-7
TEL:03-3831-0384

アトレ上野店、パルコヤ上野店
松坂屋上野店
https://www.mihashi.co.jp









お買いものは「エキナカ」で

ecute Ueno

JR上野駅公園改札口直結！

限定グルメが勢ぞろい！

見て・食べて・
思わず笑顔になる
ひとときを。

最新情報はこちらをチェック!

HP　X　Instagram



協力：まちまち眼鏡店（HAGISO inc.）

ecute Nippori

スイーツ・惣菜・弁当・雑貨などを
取り扱う
JR日暮里駅構内の商業施設。

今日を少し「いい日」にしてくれる
「なじみのいっぴん」がここに。

日暮里・谷根千の
まちあるきがもっと楽しくなる
「よりみちまっぷがちゃ」
も販売中！

最新情報はこちらをチェック!

HP　X　Instagram





上野 精養軒

上野公園内不忍池畔

ご婚礼・ご宴会・レストラン

創業明治5年





〒110-8715
東京都台東区上野公園 4-58　TEL：03（3821）2181（代表）FAX：03（3824）2731　https://www.seiyoken.co.jp/

MEETS ART
～人とアートをつなぐ場所～



美術画廊

開放感と落ち着きある空間に
国内外の有名・巨匠作家作品や
注目の中堅・若手作家作品を展覧。
現在の美術界を代表する
名作・名品をご堪能ください。

Matsuzakaya
松坂屋・上野店

電話 050-1782-1000 東京都台東区上野 3-29-5【営業時間】地下1階・1階：10時～20時、中2階・2階：10時～19時、3階～8階：10時～18時30分
※中2階 免税カウンター：10時～20時 営業時間・イベントの内容は予告なく変更する場合がございます。



ただいまご覧いただいております本誌「コンサートスケジュール」冊子
（A5判オールカラー通常32ページ）に皆様のご協力をお願いします。

本誌に広告を掲載しませんか？

音楽ファン、アートに関心のある読者とダイレクトに繋がる、ユニークで
効果的なメディアです。

本誌を置いてください！本誌の配布にご協力を！

お店・音楽ホール・画廊・サロン・イベントスポット、学校・団体などで、本誌の設置・配布にご協力を！

広告資料のご請求、配布ご協力のご連絡は東京藝術大学演奏藝術センター「コンサート・スケジュール」係まで

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学演奏藝術センター内
TEL：050-5525-2468（担当：楠田）

YANAGISAWA

WO
ダブルオー
SERIES
原点から、頂点へ。



音は輝き、音は満ちる。

より美しく、より豊かに。世界で評価される
ヤナギサワサクソフォーンWOシリーズで、
音楽の悦びをさらなる高みへ。

製造元
柳澤管楽器株式会社
https://www.yanagisawasax.co.jp/

発売元
株式会社プリマ楽器
〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8
Tel. 03-3866-2215／03-3866-2210
https://www.prima-gakki.co.jp/

PRIMA YANAGISAWA SAXOPHONES **WO** SERIES

YAMAHA
Make Waves

さあ、新しい自分に
会いに行こう。



ヤマハ銀座店

〒104-0061　東京都中央区銀座7-9-14　TEL：03-3572-3171（代）
https://retailing.jp.yamaha.com/shop/ginza

株式会社ヤマハミュージックジャパン

Since 1853 – 偉大な音楽家たちと共に

C. BECHSTEIN



(株) ベヒシュタイン・ジャパン

2025年 第19回 ショパン国際ピアノコンクール
公式ピアノ Concert D-282

ピアノ・楽譜のことなら
カワイ表参道へ

関東最大のカワイピアノショップへ、
是非ご来店くださいませ。
スタッフ一同心よりお待ちしております。



1F　楽譜・デジタルピアノ・アップライトピアノ
2F　コンサートサロン「パウゼ」
3F　グランドピアノ

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-1
カワイ表参道
TEL03-3409-2511　FAX03-3409-2598

SHIGERU KAWAI グランドピアノご試弾受付中

高価下取り
現在ご使用中のピアノのお買換には、お手持ちのピアノ・電子ピアノを高価下取りいたします。（下取査定無料）

ボーナス一括払い手数料無料
3～120回クレジット払いもご利用いただけます。（ボーナス併用可）

新品特別受付中
ピアノを快適に弾ける環境づくりのお手伝いをします。

調律修理承ります
技術者が責任を持ってピアノをお守りします。



高橋建設株式会社

〒216-0032 神奈川県川崎市宮前区神木1-7-8
http://www.takahashi-kensetsu.co.jp/

防音工事のご相談はこちらから

0120-55-0065

高橋建設　防音　検索

東京藝術大学
法人スポンサーシップ制度のご案内

未来を担う藝大生へ、
あたたかいご支援を

詳細はこちら →



東京藝術大学
イベント等のご案内

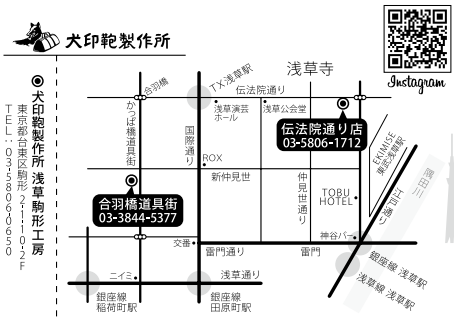
学生・教職員による
展覧会・演奏会・講演会・ワークショップなどの
イベント情報を 1か月に1回 程度 お知らせします。

※本制度はトライアル段階のため、今後、変更になる可能性がございます。
※ご提供いただいた個人情報は、目的外の利用をすることや、利用者本人の同意なく第三者に開示、提供することはいたしません。
※メール配信のご登録は無料です。



東京・浅草 犬印鞄製作所





◉犬印鞄製作所 浅草駒形工房
東京都台東区駒形 2-11-12 F
TEL.03-5806-0650

犬印鞄製作所 伝法院通り店
東京都台東区浅草 1-35-6
犬印鞄製作所 合羽橋道具街
東京都台東区松が谷 2-12-7

オンラインストア
www.inujirushikaban.jp
Facebook
www.facebook.com/inujirushi.net



古月

RESTAURANT COGETSU
ORIGINAL creative
chinese Cuisine





[営業時間]
ランチ　12:00～15:00
ディナー 17:00～21:30
[定休日] 月曜日・火曜日

〒110-0008
東京都台東区池之端4-23-1
TEL.03-3821-4751
FAX.03-3821-4770
ホームページ
http://www.kogetu.co.jp/

geidai art plaza

藝大アートプラザ

東京藝術大学 × 小学館 藝大アートプラザ共同運営事業
～変わり続けるアートの広場～

東京藝術大学の学生、卒業生、教員など、
藝大に関わる作家たちの作品に出会うことができる場所です



東京藝術大学 美術学部構内
東京都台東区上野公園12-8 TEL 050-5525-2102
営業時間 10:00～18:00 ※変更の可能性もあるためHP等でご確認ください
定休日 月曜日(祝日の場合は営業して翌火曜日休業、展示替え期間中は休業)

藝大アートプラザ
うつわとTシャツの店にて
展示作品の一部や
藝大オリジナルグッズを販売しています▶

ⓘ東京藝術大学演奏藝術センターについて

東京藝術大学演奏藝術センターは、奏楽堂を舞台に美術学部・音楽学部の枠を越えて、演奏および音楽的舞台芸術の創造的な「場」をプロデュースするために創設されました。藝大から社会への情報発信の窓口の一つとして、本学の教育研究成果の発表をはじめ、さまざまなコンサートの企画・制作・広報活動などを行う一方、**『劇場技術論』『障がいとアーツ研究』『社会哲学特講』『音楽アーカイブ実践論』**など学部にまたがるユニークな授業を実施しています。
なお、公演は下記の３つの柱を軸に展開しています。

❶藝大プロジェクト
音楽学部各専攻の枠を越え、さらには美術学部との連携も図る試み

❷奏楽堂シリーズ
音楽学部各専攻の専門性、独自性を活かしたコンサートシリーズ

❸藝大21
既成の概念にとらわれず、さまざまな音楽の「今」を問う企画

さまざまなチャンネルで発信中！

東京藝術大学演奏藝術センターのSNSアカウントに「いいね！」やフォロー、またリポストなどをよろしくお願いいたします。

演奏藝術センターのウェブサイトへようこそ！



東京藝術大学演奏藝術センターの公式ウェブサイトはこちらです。藝大奏楽堂の一部の演奏会や、演奏藝術センターの活動の他、当日券や公演内容の変更についても適宜ご案内しております。「藝大ウェブサイト」と併せてご利用ください。

演奏藝術センター　検索

https://pac.geidai.ac.jp

SNSでも応援お願いいたします！

Facebook「演奏藝術センター」アカウントに「いいね！」をお願いします！

藝大奏楽堂の演奏会などの最新情報や、当日券の有無や公演内容の変更、リハーサル風景、とっておきの裏話など配信中！

Xはこちら。
ぜひフォローをお願いします。


エラメルくん

演奏藝術センターの公式マスコットキャラクターエラメルくんが演奏会最新情報や、舞台裏、イベント企画の情報などをつぶやいています。

演奏藝術センター X　検索

インスタグラムはこちら。
ぜひフォローをお願いします。

藝大ミュージックアーカイブ

藝大ミュージックアーカイブは、東京藝術大学でこれまでに行われた演奏会の記録音源・映像を集めた公式ウェブサイトです。定期演奏会、演奏藝術センター企画演奏会、モーニング・コンサート、博士学位審査会、海外提携校交流演奏会などを無料で配信しています。

（運営：音響研究室・アーカイブ部門）

X：@arcmusic_GEIDAI　Facebook：@arcmusic.geidai
ウェブサイト：https://gma.geidai.ac.jp

※一般非公開または一部のみ公開している公演もあります。

ウェブサイトをリニューアルいたしました！





りんせつけん

《《 東京藝術大学音楽学部各ホール案内 》》



INFORMATION ● **東京藝術大学奏楽堂** ※現在休館中

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8
TEL 050-5525-2300（東京藝術大学演奏藝術センター）

東京藝術大学ウェブサイト
https://www.geidai.ac.jp/





※ **旧奏楽堂（旧東京音楽学校奏楽堂）** は、
藝大構内ではなく上野公園の中にあります。（下記地図参照）



交通・アクセス案内

- JR 上野駅（公園口）、JR 鶯谷駅（南口）、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩 10 分
- 京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅、東京メトロ銀座線上野駅より徒歩 15 分

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

◀東京藝術大学のウェブサイトは
こちらから

ご感想募集！

ご覧の「コンサート・スケジュール 2026 年度後期版」につきまして、ご感想やご要望、「取り上げてほしいテーマや話題」など、必要事項ご記入のうえ以下にお送りください。

必要事項 ①ご住所（郵便番号） ②お名前 ③メールでのご案内を希望される場合はアドレスもご記入ください。

宛先／封書・ハガキまたは FAX で

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 FAX：03-5685-7728
東京藝大演奏藝術センターCS26係

編集後記

想像もしなかった奏楽堂の事故により、今年度前期版については発行を見送らざるをえませんでした。しかし、転んでもただでは起きません。これを機に、学内外のさまざまな会場で繰り広げられる本学の公演にも、ぜひ足を運んでいただければ幸いです。また、前号の休刊にもかかわらず、変わらぬご支援を賜りました協賛各社の皆様に、心より御礼申し上げます。（楠田）

パイプオルガンは持ち運ぶことが不可能なため、設置される建物やその地方の風土や歴史と密接に関わりながら発展してきた「土着の」要素が極めて大きい楽器で、故にそれらを訪ね歩くオルガニストは同時に旅人でもあります。奏楽堂というホームを離れ様々な会場でコンサートを行う今期の旅で、我々はどんな新しい物語に出会うのか、今から楽しみでなりません。（松岡）

大学で重ねてきた創作や演奏を通じ、芸術は社会とどうつながり、何ができるのか。奏楽堂の休館を受けた各地での試みは、その問いにあらためて向き合う機会にもなっていると思います。藝大が大学の外へ活動を広げる今、本誌が皆さまにとっても、日常の外へ開く小さな扉となれば幸いです。ちょっと気になる公演へ、ふらっと足をお運びください。（井澤）

東京藝術大学

表紙作品=「裏地／裏富士」2021年　撮影：吉田周平　提供：FUJI TEXTILE WEEK 2021
西尾美也（美術家・ファッションデザイナー／東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授）

西尾美也（にしお・よしなり）
1982年奈良県生まれ。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業、同大学大学院美術研究科先端芸術表現領域博士後期課程修了。博士（美術）。文化庁新進芸術家海外研修制度研修員（ケニア共和国ナイロビ）、奈良県立大学准教授などを経て、現職。装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目したアートプロジェクトを国内外で展開。ファッションブランド「NISHINARI YOSHIO」を手がける。主著に『装いは内破する』（左右社）、『美術は教育』（現代企画室）。第1回社会デザイン学会奨励賞、第23回木村重信民族藝術学会賞受賞。2026年開館の奈良監獄ミュージアムでは、新作《声を縫う》が3年間にわたり常設展示される。

発行　東京藝術大学演奏藝術センター・東京藝術大学音楽学部

企画・編集：東京藝術大学演奏藝術センター（楠田健太・松岡あさひ・井澤友香理）
写真撮影：東京藝術大学演奏藝術センター／東京藝術大学音楽学部演奏企画室／藤本史昭／横田敦史
本文デザイン：株式会社ヤマジ（栗原健）　印刷：株式会社ヤマジ
2026年9月発行
※事前の承諾なく転載・複製・改変等の二次使用をすることを固く禁じます。